



しじゅうから

福島市小鳥の森通信2018年3月号 No.387

小鳥の森で観察してみよう 76

オオマシコ

アトリ科

体の大きさ：17cm（スズメ
（14cm）より大きい）

生態：

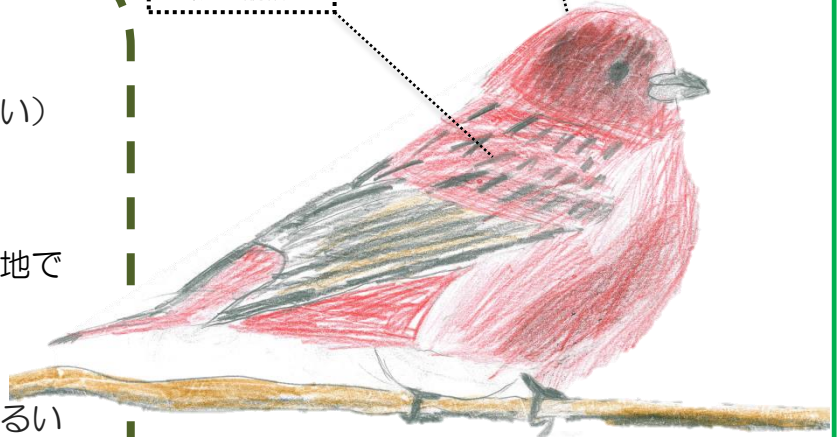
- ・ 種子・昆虫を食べる
- ・ 平地や山地の林・草地・農耕地で群れで行動する

小鳥の森での観察：

- ・ まれに冬の期間、アワ畑や明るい林の縁で観察できる
- ※2018年は16年ぶりに確認できました

頭・背中・胸・腹が鮮やかな紅色

背中・肩の羽に黒い縦縞



黒沢泰

今回の絵は、くろさわかなでくんが描いてくれました。

3月の自然予報

3月下旬になると、カタクリやスミレ、シュンランなど、春の花が咲き始めます。春には林床を彩る花が注目されがちです。しかし、ちょっと目線をあげて見ると、寒い冬を乗り越えた樹木たちも、可憐な花を咲かせます。

小鳥の森で春一番に咲き始めるのはオオバヤシャブシやミヤマウグイスカグラ、アブラチャンなどです。黄色やピンクの可愛い花を探しに小鳥の森を散策してみませんか。

2016年の開花日

3/24	ミヤマウグイスカグラ	開花
3/24	アセビ	開花
3/24	オオバヤシャブシ	開花
3/26	アブラチャン	開花



オオバヤシャブシ

アブラチャン



ミヤマウグイスカグラ

2月の自然

ネイチャーセンターには、屋根裏に棲む鳥がいました。キツツキの仲間のアオゲラやアカゲラです。壁をつついて直径6cmほどの穴を開け、冬の間の「ねぐら」にしていました。センターの外壁の所々に丸い穴が開いていましたが、昨年の工事の際、雨や風が吹き込まないように厚い板でふさいでしまいました。

さて、2月の小鳥の森は、雪が降り積もり気温が低い日が続きました。鳥たちにとっても、寒く厳しい時期だったことでしょう。そんなある日、レンジャーがセンターを見上げると、ふさいだ場所に見覚えのある穴を見つけました。どうやらまたキツツキが、以前と同じ場所をつついたようです。苦笑いしつつも、キツツキに「ここは居心地の良い場所！」と認めてもらったような出来事でした。



キツツキの仲間が開けられた穴

小鳥の森スタッフだより

3月に入ると気温が徐々に上がり、冬を越すために来ていたハクチョウやカモなどの冬鳥は、ほとんどが北へと帰ります。

また、渡りをしない野鳥は、オスが子育ての準備のために、さえずりというきれいな声でメスヘアピールをする季節になります。

身近な野鳥ではウグイスの「ホーホケキョ」という鳴き声がそれにあたります。この声は、子育ての時期だけの鳴き声なので、子育てに必要なエサとなる虫たちが活動を始める合図にもなります。

自宅の周辺でも野鳥がさえずりをしている様子を見かける機会が増えると思います。春が近づいてきていることを、耳で探してみてもいいかもしれません。

(レンジャー
ほそいとしひろ)



ウグイス

お山の大将あつまれ！ を開催しました

2月18日に「お山の大将あつまれ！」を開催しました。今回のテーマは「野鳥の子育て環境を守ろう」ということで、これから子育てを始めるシジュウカラやヤマガラのために巣箱を作りました。

3チームに分かれ、それぞれ協力し合いながら、ノコギリを使って板を切ったり、トンカチで釘を打ったりしながら、巣箱を完成させました。

最後に雪のちらつく天候の中、みんなで元気に森の中へ出かけ巣箱を設置して、終了しました。

4月には、新たな仲間を募集します。興味のある方はぜひご申し込みください。



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2018年3月号No.387/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま